



2022年3月期 第2四半期決算短信(米国基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安原 弘展

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

2021年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト)

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	87,419	19.5	3,976	211.6	5,500	52.7	2,983	67.4
2021年3月期第2四半期	73,155	27.9	1,276	86.6	3,603	61.4	1,782	73.3

(注) 四半期包括利益 2022年3月期第2四半期 4,092百万円 (369.3%) 2021年3月期第2四半期 872百万円 (78.1%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	47.77	47.57
2021年3月期第2四半期	28.56	28.44

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	303,935	221,461	218,415	71.9	3,497.07
2021年3月期	322,761	218,616	215,612	66.8	3,454.18

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		20.00		20.00	40.00
2022年3月期		20.00			
2022年3月期(予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,000	20.9	6,000		7,900	26.8	5,500	21.7	88.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	65,589,042 株	2021年3月期	65,589,042 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	3,132,525 株	2021年3月期	3,168,353 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	62,438,539 株	2021年3月期2Q	62,403,282 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結包括利益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(6) 販売の状況	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

①当第2四半期の業績

(単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	2022年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	73,155	87,419	+14,264	+19.5%
売上原価	32,159	37,805	+5,646	+17.6%
売上利益	40,996	49,614	+8,618	+21.0%
販売費及び一般管理費	39,720	45,638	+5,918	+14.9%
営業利益	1,276	3,976	+2,700	+211.6%
その他の収益・費用	703	1,326	+623	+88.6%
A:有価証券・投資評価損益(純額)	1,624	198	△1,426	△87.8%
税引前四半期純利益	3,603	5,500	+1,897	+52.7%
当社株主に帰属する四半期純利益	1,782	2,983	+1,201	+67.4%
参考情報: Aを考慮しない税引前四半期純利益	1,979	5,302	+3,323	+167.9%

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～9月30日)における当社グループの経営環境は、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)に対する規制の緩和によって米国、欧州の商況が大きく改善したものの、国内は極めて厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、お客さま・従業員・お取引先の健康と安全の確保を最優先に事業活動を行いつつ、高収益な経営体質の構築に向けた構造改革に取り組んでいます。また、感染症の拡大をきっかけに大きく変化した消費者の生活様式に対応する商品・サービスの開発・提供を継続的に行うとともに、「オンラインとオフラインの融合」、「顧客データの活用」など顧客体験の向上に向けた独自のCX戦略を推進することで、お客さま一人ひとりの「深く、広く、長い」関係性を構築する取り組みを進めています。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は874.2億円(前年同期比19.5%増)、営業利益は、39.8億円(前年同期比211.6%増)、税引前四半期純利益は、55.0億円(前年同期比52.7%増)、当社株主に帰属する四半期純利益は、29.8億円(前年同期比67.4%増)となりました。なお、有価証券・投資評価損益(純額)については、評価益2.0億円を計上しています。(当社は米国会計基準を採用しており、当社及び連結子会社が保有する持分証券につきましては、公正価値で評価し、期初からの変動を「有価証券・投資評価損益(純額)」として「その他の収益・費用」で計上しています。)

当該期間の為替換算レートは、1米ドル=109.80円(前年同期106.92円)、1英ポンド=152.50円(同135.38円)、1中国元=16.66円(同15.38円)です。

②オペレーティング・セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第2四半期 累計実績	構成比	第2四半期 累計実績	構成比	増減額	増減率
売上高合計	73,155	100.0%	87,419	100.0%	+14,264	+19.5%
ワコール事業(国内)	41,031	56.1%	42,935	49.1%	+1,904	+4.6%
ワコール事業(海外)	19,448	26.6%	32,379	37.0%	+12,931	+66.5%
ピーチ・ジョン事業	6,067	8.3%	6,161	7.1%	+94	+1.5%
その他	6,609	9.0%	5,944	6.8%	△665	△10.1%

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第2四半期 累計実績	売上比	第2四半期 累計実績	売上比	増減額	増減率
営業利益(△損失)	1,276	1.7%	3,976	4.5%	+2,700	+211.6%
ワコール事業(国内)	913	2.2%	740	1.7%	△173	△18.9%
ワコール事業(海外)	△255	—	2,663	8.2%	+2,918	—
ピーチ・ジョン事業	1,014	16.7%	1,053	17.1%	+39	+3.8%
その他	△396	—	△480	—	△84	—

(参考) 主要子会社の売上高・営業利益(△損失)

(単位：百万円)

売上高	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第2四半期 累計実績	構成比	第2四半期 累計実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	38,450	52.6%	38,826	44.4%	+376	+1.0%
ワコールインターナショナル(米国)	8,511	11.6%	14,445	16.5%	+5,934	+69.7%
ワコールヨーロッパ	4,598	6.3%	8,596	9.8%	+3,998	+87.0%
中国ワコール	4,286	5.9%	6,585	7.5%	+2,299	+53.6%
ピーチ・ジョン	6,067	8.3%	6,161	7.0%	+94	+1.5%
ルシアン	2,424	3.3%	1,753	2.0%	△671	△27.7%
七彩	2,835	3.9%	2,515	2.9%	△320	△11.3%

※外部売上高のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益(△損失)	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	第2四半期 累計実績	売上比	第2四半期 累計実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	△985	—	35	0.1%	+1,020	—
ワコールインターナショナル(米国)	△915	—	1,120	7.8%	+2,035	—
ワコールヨーロッパ	139	3.0%	1,107	12.9%	+968	+696.4%
中国ワコール	409	9.5%	389	5.9%	△20	△4.9%
ピーチ・ジョン	1,014	16.7%	1,053	17.1%	+39	+3.8%
ルシアン	97	4.0%	△149	—	△246	—
七彩	△203	—	△219	—	△16	—

※主要子会社の売上高・営業利益(△損失)は各国会計基準に基づく数値

a. ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は429.4億円（前年同期比4.6%増）、営業利益は7.4億円（前年同期比18.9%減）となりました。営業利益については、前年同期の雇用調整助成金の受け取りによる利益貢献の裏返しなどから、減益となっています。

【ワコール】

ワコール事業（国内）の中核事業会社であるワコールの売上高は、前年同期に比べ1.0%の増収となり、感染症拡大の影響を受けた前年同期並みの水準となりました。なお、ワコールの前年同期に対する増収幅と、ワコール事業（国内）セグメントの前年同期に対する増収幅の差異は、主に当期よりワコールが新収益認識基準を適用したことによるものです。

第1四半期連結会計期間は営業環境の改善が寄与し33.3%の増収となりましたが、当第2四半期連結会計期間は緊急事態宣言の発出や7月以降の感染者数の増大などに起因する消費マインドの低下に伴って、商業施設への来店客数が低調に推移した結果、16.7%の減収となりました。

巣ごもり需要の寄与もあり、前年同期に大きく伸ばした自社EC「ワコールウェブストア」については、送料無料キャンペーンなどが奏功し、計画を上回る購買率を確保した結果、前年同期の高い水準を上回りました。また、他社ECについても前年同期の水準を上回りました。

営業利益は、売上が低迷する中で、高収益な経営体質の構築に向けた収益構造改革の一環として経費削減などに努めた結果、0.4億円（前年同期は営業損失9.9億円）となりました。なお、雇用調整助成金につきましては、営業外収入として計上されているため、上記の営業利益の金額や前年同期差には含まれていません（連結経営成績上は米国会計基準に基づき営業損益に組み替え表示しています）。

b. ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は323.8億円（前年同期比66.5%増）、営業利益は26.6億円（前年同期は2.6億円の営業損失）となりました。

なお、前期において「ワコール事業（海外）」セグメント内で計上していた「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高については、「ピーチ・ジョン事業」セグメントでの計上に変更し、前年同期実績についても遡及修正しています。

また、中国ワコールにおける百貨店等の売上について、当期より店頭価格ベースに変更していますが、遡及修正していません。なお、当該変更により、売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ同額増加するため、営業利益に影響はありません。

【ワコールインターナショナル（米国）】

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ65.3%の増収（邦貨換算ベース69.7%増）となりました。

「Wacoal」や「b. tempt' d」などのブランドを展開する米国ワコールは、個人消費の力強い回復を背景に、自社ECや百貨店の店頭売上が好調に推移した結果、72.5%の増収となり、感染症拡大前の水準を上回りました。

「LIVELY」ブランドを展開するIntimates Online, Inc.は、SNS広告のコスト高騰を受け、マーケティング費用を抑制した結果、自社ECへの集客に苦戦しましたが、サイトの利便性改善による購買率の向上やターゲット（Target corporation）への納品が寄与し、35.7%の増収となりました。

現地通貨ベースの営業利益は、自社ECの成長に向けて戦略的な投資を継続した一方で、増収効果や売上利益率の改善が寄与し、10.2百万ドル（邦貨換算ベース11.2億円）となりました（前年同期は営業損失8.6百万ドル（邦貨換算ベース9.2億円））。

【ワコールヨーロッパ】

ワコールヨーロッパの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ66.0%の増収（邦貨換算ベース87.0%増）となりました。

感染症対策の緩和以降、主要エリアの経済活動は回復基調にあり、第2四半期連結会計期間の売上高は米国、英国、欧州すべての地域で感染症拡大前の水準を上回りました。チャネル別では、百貨店は主力得意先の閉店により感染症拡大前の水準を下回っていますが、専門店については回復を果たしています。なお、英国で展開する自社ECについては、54.4%の大幅な増収となり、売上に占める自社EC比率は6%程度まで高まっています。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果により、613.0%の増益（邦貨換算ベース696.4%増）となりました。

【中国ワコール】

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ41.8%の増収（邦貨換算ベース53.6%増）となりました。

百貨店などの実店舗については、感染症拡大による店舗休業の裏返しから、「Wacoal」や「Salute」ブランドの売上が回復し、増収となりましたが、感染症拡大前の水準には届いていません（卸価格ベース比較）。ECについては、新興ブランドとの競争激化に加え、ECモール事業者が主催する大型商戦での苦戦などが響き、前年同期を下回りました。

現地通貨ベースの営業利益は、前年同期の政府の支援策がなくなったことや、前期末に採用した新準則と旧準則の会計基準差による一時的な影響などにより、12.3%の減益（邦貨換算ベース4.9%減）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、61.6億円（前年同期比1.5%増）となりました。

直営店は、7月以降の感染者数増大が響き、第2四半期連結会計期間は減収となりましたが、第1四半期連結会計期間の売上回復が寄与し、22.6%の増収となりました。自社ECは、巣ごもり需要によって大きく伸長した前年同期の水準には至らず、13.8%の減収となりました。

営業利益は、増収効果に加え、売上利益率の改善や経費の抑制により、10.5億円（前年同期比3.8%増）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上高は、59.4億円（前年同期比10.1%減）、営業損益は4.8億円の営業損失（前年同期は4.0億円の営業損失）となりました。

【ルシアン】

ルシアンの売上高は、量販店や大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の売上が低調に推移した結果、前年同期に比べ27.7%の減収となりました。営業損益は、経費削減に努めたものの、減収の影響が大きく1.5億円の営業損失（前年同期は1.0億円の営業利益）となりました。

【七彩】

七彩の売上高は、感染症拡大に伴う新規出店や各種イベントの中止・延期による工事事業の低迷が影響し、前年同期に比べ11.3%の減収となりました。営業損益は、オペレーションの見直しによる経費削減を進めたものの、減収の影響が大きく2.2億円の営業損失（前年同期は2.0億円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、借入金の返済のため現金及び現金同等物が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して188億26百万円減少し、3,039億35百万円となりました。

負債の部も、同様の理由で短期借入金を返済したことなどにより、前連結会計年度末に比して216億71百万円減少し、824億74百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の変動などにより、前連結会計年度末に比して28億3百万円増加し、2,184億15百万円となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して5.1ポイント増加し、71.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して167億60百万円減少し、467億97百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益30億円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、87億8百万円の収入（前年同期は29億90百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得などにより、28億21百万円の支出（前年同期に比し8億86百万円の支出増）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済、配当金支払や条件付取得対価の支払などにより、225億68百万円の支出（前年同期は358億39百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、外部環境が不透明な状況であること等を踏まえ、現時点では2021年5月14日に公表した連結業績予想に変更はありません。しかしながら、感染症による先行き不透明な状況が今なお続いています。感染症拡大の状況によって、業績予想の見直しが必要と判断した場合は、速やかに新たな見通しを開示します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	増減金額
	(2021年3月31日)	(2021年9月30日)	
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	63,557	46,797	△ 16,760
定期預金	1,443	1,913	470
有価証券	253	—	△ 253
売掛債権	17,571	18,425	854
貸倒引当金	△ 346	△ 291	55
たな卸資産	43,250	44,176	926
返品資産	600	719	119
その他の流動資産	7,794	3,556	△ 4,238
流動資産合計	134,122	115,295	△ 18,827
II. 有形固定資産			
土地	20,569	20,559	△ 10
建物及び構築物	72,978	73,353	375
機械装置及び工具器具備品等	19,356	19,722	366
建設仮勘定	1,264	3,711	2,447
	114,167	117,345	3,178
減価償却累計額	△ 64,409	△ 65,845	△ 1,436
有形固定資産合計	49,758	51,500	1,742
III. その他の資産			
オペレーティングリース 使用権資産	12,729	12,019	△ 710
関連会社投資	21,207	21,590	383
投資	51,603	50,016	△ 1,587
のれん	21,169	21,186	17
その他の無形固定資産	15,220	14,910	△ 310
前払年金費用	9,533	9,906	373
繰延税金資産	1,649	1,764	115
その他	5,771	5,749	△ 22
その他の資産合計	138,881	137,140	△ 1,741
資産合計	322,761	303,935	△ 18,826

科 目	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	増減金額
	(2021年3月31日)	(2021年9月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	40,672	20,663	△ 20,009
買掛債務			
支払手形	712	666	△ 46
買掛金	8,734	8,365	△ 369
未払金	6,610	3,822	△ 2,788
	16,056	12,853	△ 3,203
未払給料及び賞与	6,822	6,232	△ 590
未払税金	1,025	1,507	482
返金負債	2,266	2,297	31
短期オペレーティング リース負債	4,411	4,196	△ 215
条件付取得対価に係る負債 (短期)	—	895	895
その他の流動負債	4,819	5,968	1,149
流動負債合計	76,071	54,611	△ 21,460
II. 固定負債			
長期債務	1,498	1,511	13
退職給付に係る負債	1,942	1,958	16
繰延税金負債	12,292	13,363	1,071
長期オペレーティング リース負債	8,520	8,043	△ 477
条件付取得対価に係る負債 (長期)	1,639	745	△ 894
その他の固定負債	2,183	2,243	60
固定負債合計	28,074	27,863	△ 211
負債合計	104,145	82,474	△ 21,671
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,120	29,047	△ 73
III. 利益剰余金	181,346	183,081	1,735
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	1,770	2,791	1,021
年金債務調整勘定	△ 1,008	△ 989	19
V. 自己株式	△ 8,876	△ 8,775	101
株主資本合計	215,612	218,415	2,803
VI. 非支配持分	3,004	3,046	42
資本合計	218,616	221,461	2,845
負債及び資本合計	322,761	303,935	△ 18,826

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	73,155	100.0	87,419	100.0	14,264
II. 営業費用					
売上原価	32,159	44.0	37,805	43.3	5,646
販売費及び一般管理費	39,720	54.3	45,638	52.2	5,918
営業費用合計	71,879	98.3	83,443	95.5	11,564
営業利益	1,276	1.7	3,976	4.5	2,700
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	34		39		5
支払利息	△ 32		△ 37		△ 5
受取配当金	690		639		△ 51
有価証券・投資評価損益(純額)	1,624		198		△ 1,426
その他の損益(純額)	11		685		674
その他の収益・費用合計	2,327	3.2	1,524	1.8	△ 803
税引前四半期純利益	3,603	4.9	5,500	6.3	1,897
法人税等	2,350	3.2	2,617	3.0	267
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	1,253	1.7	2,883	3.3	1,630
持分法による投資損益	411	0.6	117	0.1	△ 294
四半期純利益	1,664	2.3	3,000	3.4	1,336
非支配持分帰属損益	118	0.1	△ 17	△ 0.0	△ 135
当社株主に帰属する四半期純利益	1,782	2.4	2,983	3.4	1,201

(3) 四半期連結包括利益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	1,664		3,000		1,336
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	△ 1,104		1,073		2,177
年金債務調整勘定	312		19		△ 293
その他の包括損益 合計	△ 792		1,092		1,884
四半期包括損益	872		4,092		3,220
非支配持分帰属四半期包括損益	244		△ 69		△ 313
当社株主に帰属する四半期包括損益	1,116		4,023		2,907

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(株)ワコールホールディングス(3591) 2022年3月期 第2四半期決算短信

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日)	(自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	1,664	3,000
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,013	2,985
(2)貸倒引当金(純額)	11	△ 56
(3)繰延税金	△ 81	957
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 370	△ 131
(5)有形固定資産減損損失	625	—
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 1,624	△ 198
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	116	238
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 801	△ 761
たな卸資産の増加	△ 348	△ 530
返品資産の増加	△ 103	△ 119
その他の流動資産等の減少(△増加)	△ 700	4,141
買掛債務の減少	△ 3,427	△ 1,642
返金負債の増加	365	31
退職給付に係る負債の増加(△減少)	173	△ 336
その他の負債等の増加(△減少)	△ 1,475	989
(9)その他	△ 28	140
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,990	8,708
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 323	△ 819
2. 定期預金の減少額	292	372
3. 持分証券の売却及び償還収入	288	1,819
4. 持分証券の取得	△ 6	△ 2
5. 負債証券の償還収入	321	220
6. 有形固定資産の売却収入	643	270
7. 有形固定資産の取得	△ 1,364	△ 3,197
8. 無形固定資産の取得	△ 1,494	△ 1,512
9. 貸付による支出	△ 315	—
10. その他	23	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,935	△ 2,821
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	17,848	—
2. 短期借入金(3ヶ月超)の調達	20,428	—
3. 短期借入金(3ヶ月超)の返済	—	△ 20,000
4. 長期債務の調達	1,176	—
5. 長期債務の返済	△ 25	△ 25
6. 自己株式の取得	△ 0	△ 0
7. 当社株主への配当金支払額	△ 1,248	△ 1,248
8. 非支配持分への配当金支払額	△ 81	△ 82
9. 非支配持分からの払込みによる収入	—	55
10. 非支配持分からの子会社持分取得による支出	△ 1,190	—
11. 条件付取得対価の支払	△ 1,069	△ 1,268
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,839	△ 22,568
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 133	△ 79
V. 現金及び現金同等物の増減額	30,781	△ 16,760
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	27,905	63,557
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	58,686	46,797

補足情報

現金支払額		
利息	24	37
法人税等	5,054	△ 3,698
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	426	299

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	41,031	19,448	6,067	6,609	73,155	—	73,155
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	342	4,695	111	1,840	6,988	△ 6,988	—
計	41,373	24,143	6,178	8,449	80,143	△ 6,988	73,155
営業利益(△損失)	913	△ 255	1,014	△ 396	1,276	—	1,276

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	42,935	32,379	6,161	5,944	87,419	—	87,419
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	385	4,279	178	1,916	6,758	△ 6,758	—
計	43,320	36,658	6,339	7,860	94,177	△ 6,758	87,419
営業利益(△損失)	740	2,663	1,053	△ 480	3,976	—	3,976

(注) 1. 各事業の主な製品

ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他

ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他

ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他

その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品、マキシン人形、店舗設計・施工他

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高の一部を「ワコール事業(海外)」セグメントに含めておりましたが、前連結会計年度より「ピーチ・ジョン事業」セグメントへ含めて開示しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

② 地域別情報

前第2四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	52,967	7,608	12,580	73,155
構成比	72.4%	10.4%	17.2%	100.0%
営業利益(△損失)	1,590	338	△ 652	1,276

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	54,226	10,992	22,201	87,419
構成比	62.0%	12.6%	25.4%	100.0%
営業利益	1,462	380	2,134	3,976

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: アジア諸国及びオーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		自 2020年 4月 1日 至 2020年 9月30日		自 2021年 4月 1日 至 2021年 9月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	59,114	80.8	72,417	82.8	13,303	22.5
	ナイトウェア	3,049	4.2	3,103	3.6	54	1.8
	リトルインナー	348	0.5	388	0.4	40	11.5
	計	62,511	85.5	75,908	86.8	13,397	21.4
アウターウェア・スポーツウェア等		4,134	5.6	5,126	5.9	992	24.0
レッグニット		401	0.5	478	0.5	77	19.2
その他繊維製品及び関連製品		2,632	3.6	2,608	3.0	△ 24	△ 0.9
その他		3,477	4.8	3,299	3.8	△ 178	△ 5.1
合 計		73,155	100.0	87,419	100.0	14,264	19.5